

(様式第9)

千大財第 430号
平成22年10月 5日

関東信越厚生局長 殿

国立大学法人千葉大学長
齋藤 邦

特定機能病院の業務に関する報告について

(標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成21年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績
別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績
別紙参照(様式第11)

- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	65.25人
--------	--------

(注)前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成22年10月1日現在)

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数	
医師	239.6人	253.8人	493.4人	看護業務補助	2.8人	診療エックス線技士	0人	
歯科医師	8人	22.2人	30.2人	理学療法士	12人	臨床 検査	臨床検査技師	61.8人
薬剤師	42人	10.8人	52.8人	作業療法士	6人		衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	5人		その他	0人
助産師	30.5人	2.3人	32.8人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人	
看護師	664.2人	42.8人	707.0人	臨床工学技士	9人	医療社会事業従事者	6人	
准看護師	3人	2.7人	5.7人	栄養士	3人	その他の技術員	29.7人	
歯科衛生士	1人	1.6人	2.6人	歯科技工士	0人	事務職員	148.5人	
管理栄養士	7人	0人	7人	診療放射線技師	38.8人	その他の職員	19.4人	

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	683.6人	13.1人	696.7人
1日当たり平均外来患者数	1,893.6人	65人	1,958.6人
1日当たり調剤数	入院： 623.8剤	外来： 481.6剤	

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
顎顔面補綴	0人
固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	0人
末梢血単核球移植による血管再生治療	8人
超音波骨折治療法	0人
インプラント義歯	0人
神経変性疾患のDNA診断	8人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るものに限る)	10人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	8人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	283人	・膿疱性乾癬	23人
・多発性硬化症	236人	・広範脊柱管狭窄症	2人
・重症筋無力症	476人	・原発性胆汁性肝硬変	298人
・全身性エリテマトーデス	1317人	・重症急性膵炎	27人
・スモン	3人	・特発性大腿骨頭壊死症	62人
・再生不良性貧血	135人	・混合性結合組織病	277人
・サルコイドーシス	555人	・原発性免疫不全症候群	22人
・筋萎縮性側索硬化症	54人	・特発性間質性肺炎	21人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	624人	・網膜色素変性症	409人
・特発性血小板減少性紫斑病	315人	・プリオン病	8人
・結節性動脈周囲炎	88人	・肺動脈性肺高血圧症	17人
・潰瘍性大腸炎	547人	・神経線維腫症	40人
・大動脈炎症候群	74人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	69人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	5人
・天疱瘡	125人	・慢性血栓性肺高血圧症	20人
・脊髄小脳変性症	225人	・ライソゾーム病	5人
・クローン病	188人	・副腎白質ジストロフィー	3人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	15人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	331人
・悪性関節リウマチ	103人	・脊髄性筋萎縮症	41人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	558人	・球脊髄性筋萎縮症	24人
・アミロイドーシス	54人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	61人
・後縦靭帯骨化症	382人	・肥大型心筋症	170人
・ハンチントン病	15人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	48人	・ミトコンドリア病	0人
・ウェゲナー肉芽腫症	161人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	10人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	36人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	118人	・黄色靭帯骨化症	75人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	6人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	697人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・膀胱水圧拡張術	・
・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	月5回程度
部 検 の 状 況	部検症例数 41例 / 部検率 11.2%

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
多戦略的プロテオーム・ペプチドーム解析による消化器癌の早期診断法の開発と実用化	野村文夫	検査部	2,600,000円	補 独立行政法人日本学術振興会
c-myc遺伝子転写抑制因子のスプライシングを分子標的とした癌診断・治療法開発	松下一之	検査部	1,560,000円	補 独立行政法人日本学術振興会
プロテオーム解析を用いた脱髄型ギラン・バレー症候群の新規標的分子の探索	澤井撰	検査部	1,950,000円	補 文部科学省
プロテオーム解析によるNASH(非アルコール性脂肪性肝炎)疾患マーカー探索	西村基	検査部	1,820,000円	補 文部科学省
多角的プロテオーム解析による予後不良消化器癌の早期診断法の開発	梅村啓史	検査部	1,690,000円	補 文部科学省
独自ペプチド解析技術による消化器癌の血中新規腫瘍マーカー探索と実用的診断法の確立	佐藤守	検査部	1,690,000円	補 文部科学省
疾患関連創薬バイオマーカー探索研究	野村文夫	検査部	5,000,000円	補 厚生労働省
5.9kDペプチドフラグメントを用いた新規肝障害検出キットの開発と実用化	野村文夫	検査部	3,230,000円	委 科学技術振興機構
赤外分光法による血中カイロミクロン濃度の無試薬測定法の開発	野村文夫	検査部	1,818,000円	委 科学技術振興機構
スプライシング阻害による新規抗癌作用メカニズムの解明と新規抗癌剤スクリーニングのためのメカニズムの構築	松下一之	検査部	1,818,000円	委 科学技術振興機構
PIRを用いたスプライシング阻害薬の作用メカニズム解明と副作用スクリーニングのためのメカニズムの構築	松下一之	検査部	2,500,000円	補 千葉大学(産学連携本部)
クロー・深淵症候群に対する新規治療法の開発と病態解析	桑原聡	神経内科	910,000円	補 文部科学省
過活動膀胱に対する低反応レベルレーザー照射療法の有効性の有無に関する検討	内山智之	神経内科	2,730,000円	補 文部科学省
筋萎縮性側索硬化症のカリウムチャネル機能障害と神経細胞死に関する生理学的研究	金井敦明	神経内科	780,000円	補 文部科学省
神経原性慢性疼痛における鞘膜イオンチャネル機能の解析と効率的治療法の確立	三澤園子	神経内科	2,600,000円	補 文部科学省
正常とパーキンソン病の高位排尿中枢の神経活動と神経伝達物質-脳深部刺激療法の効果	山本達也	神経内科	3,250,000円	補 文部科学省
神経変性疾患に関する調査研究班	桑原聡	神経内科	1,000,000円	補 厚生労働省
免疫性神経疾患に関する調査研究班	桑原聡	神経内科	1,400,000円	補 厚生労働省
慢性炎症性脱髄性多発神経炎の臨床情報・生体試料バンクの構築	桑原聡	神経内科	800,000円	補 厚生労働省
スモンに関する調査研究班	朝比奈正人	神経内科	900,000円	補 厚生労働省
難治性ニューロパシーの病態に基づく新規治療法の開発	桑原聡	神経内科	550,000円	補 国立精神神経センター
治療の実施に関する研究[酢酸リュプロレイン]	金井敦明	神経内科	2,500,000円	補 (社)日本医師会
Crowdase症候群に対するサリドマイドの有効性を検討するためのプラセボ対照二重盲検	桑原聡	神経内科	8,432,000円	補 (社)日本医師会
肺癌における癌幹細胞と間葉細胞の相互作用の解明とそれを応用した集学的治療法の開発	吉富 秀幸	肝胆膵外科	11,050,000円	補 文部科学省
プロテオームおよびメタボローム解析による過大侵襲時の免疫抑制機序の解明	木村文夫	肝胆膵外科	1,430,000円	補 文部科学省
血管新生を制御する細胞間シグナル分子調節による抗腫瘍療法、及び肝再生促進の試み	清水宏明	肝胆膵外科	1,950,000円	補 文部科学省
閉塞性黄疸肝における阻血再灌流障害後の肝組織リモデリングと再生シグナルの解明	加藤 厚	肝胆膵外科	1,100,000円	補 文部科学省
肝移植後・大量肝切除後の肝再生促進と感染制御の研究 特に好中球機能からみた解析	竹内 男	肝胆膵外科	1,560,000円	補 文部科学省
肺癌の新規腫瘍マーカーApoC-1蛋白の機能解析-分子標的療法開発へ向け	須田浩介	肝胆膵外科	1,350,000円	補 文部科学省
肺癌補助療法の個別化および分子標的治療を目指したAnnexin IIの臨床応用	高野重紹	肝胆膵外科	1,560,000円	補 文部科学省
制御性T細胞による肝移植寛容誘導機構の基礎的研究	高屋敷 吏	肝胆膵外科	2,080,000円	補 文部科学省
生体肝移植および肝切除の適応拡大のための過大肝再生誘導について	岡庭 輝	肝胆膵外科	1,700,000円	補 文部科学省

重粒子線治療・膵腫瘍臨床研究	大塚将之	肝胆膵外科	150,000円	補	放射線医学総合研究所
重粒子線治療・肝腫瘍臨床研究	吉留博之	肝胆膵外科	150,000円	補	放射線医学総合研究所
根拠に基づく更年期障害改善のための 洋漢統合医学的エビデンスの構築	並木隆雄	和漢診療科	800,000円	補	厚生労働省
平成20年度「質の高い大学教育プログラム」学習成果基盤型教育による医学教育の革新化	田邊 政裕	総合医療教育研修センター	20,000	補	文部科学省
現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)「自律した医療組織人育成の教育プログラム」専門職連携機能による	田邊 政裕・朝比奈真由美	総合医療教育研修センター	48,514	補	文部科学省
留学生交流支援制度(短期受け入れ及び短期派遣)	田邊 政裕・朝比奈真由美	総合医療教育研修センター	480	補	日本学生支援機構
東関東・東京高度医療人養成ネットワーク	田邊 政裕	総合医療教育研修センター	1,640	補	文部科学省
「細胞内核害輸送阻害とエピジェネティクス制御を標的とした消化器癌分子治療の創薬」	松原 久裕	食道・胃腸外科	4,300,000円	補	日本学術振興会
「胃癌細胞における5-FU接触時のチミジル酸合成酵素制御機構と感受性への関与の解明」	鍋谷 圭宏	食道・胃腸外科	1,000,000円	補	日本学術振興会
「独自のプロテオーム解析を用いた癌組織由来の微量血中腫瘍マーカーの選別と定量的評価」	朝長 毅	食道・胃腸外科	9,400,000円	補	日本学術振興会
「ヒートショックプロテインを用いた新規食道癌ワクチン療法の開発」	阿久津 泰典	食道・胃腸外科	1,400,000円	補	日本学術振興会
重粒子線がん治療臨床研究班 下部消化器腫瘍臨床研究班	松原 久裕	食道・胃腸外科	100,000円	補	放射線医学総合研究所 臨床試験研究経費
重粒子線がん治療臨床研究班 上部消化器腫瘍臨床研究班	松原 久裕	食道・胃腸外科	200,000円	補	放射線医学総合研究所 臨床試験研究経費
肝移植後・大量肝切除後の肝再生促進と感染制御の研究	竹内 男	手術部	1,560,000円	補	日本学術振興会(科学研究費補助金)
膵癌の新規腫瘍マーカーApoC-1蛋白の機能解析—分子標的療法開発へ向け—	須田浩介	手術部	1,350,000円	補	日本学術振興会(科学研究費補助金)
非/低病原性腫瘍特異的感染ウイルス成分による発現システムの開発	丹沢 秀樹	歯科・顎・口腔外科	8,840,000円	補	文部科学省
腫瘍特異的感染ウイルスカプシド成分の合成による腫瘍特異的吸着リボソームの開発	鶴澤 一弘	歯科・顎・口腔外科	4,290,000円	補	文部科学省
Lin7C-CASK-β cateninネットワーク制御による癌転移・浸潤抑制法	坂本 洋右	歯科・顎・口腔外科	11,180,000円	補	文部科学省
口腔悪性腫瘍におけるmicro RNAの機能解析	椎葉 正史	歯科・顎・口腔外科	5,850,000円	補	文部科学省
口腔癌における核内転写因子群Pax familyの総合的解析	小河原 克訓	歯科・顎・口腔外科	910,000円	補	文部科学省
プロテオミクス解析による口腔領域の疾患種類別プロテオームマップの作成	山野 由紀男	歯科・顎・口腔外科	2,080,000円	補	文部科学省
口腔内消化の糖代謝制御における役割の解明	笠松 厚志	歯科・顎・口腔外科	1,365,000円	補	文部科学省
癌転移臓器の幹細胞ニッチを標的としたホスト環境の外科的制御に関する基礎研究	榎原雅裕	乳腺・甲状腺外科	5,000,000円	補	文部科学省
医薬品による胎児への致死的・重篤な有害事象の発現機序の究明	北田 光一	薬剤部	4,680,000円	補	日本学術振興会
重篤かつ予測困難な抗血小板薬誘発肝障害を事前回避するシステムの基盤構築と運用	有吉 範高	薬剤部	7,410,000円	補	日本学術振興会
小児造血幹細胞移植前処置におけるブスルファンに至適血中濃度に関する研究	中村 裕義	薬剤部	590,000円	補	日本学術振興会
治療抵抗性統合失調症に対する非定型抗精神病薬単剤大量療法の有効性の検討	築地まり子	薬剤部	560,000円	補	日本学術振興会
TPNのglucose投与速度が肝機能に与える影響	新井 健一	薬剤部	300,000円	補	日本学術振興会
腎障害発現に及ぼす後発シスプラチン注の影響に関する検討	今井 千晶	薬剤部	590,000円	補	日本学術振興会
粉砕剤を行った医薬品の味に関する研究	高橋 香	薬剤部	380,000円	補	日本学術振興会
造血幹細胞移植におけるシクロスポリン血中濃度モニタリングの適正化に関する研究	山崎 伸吾	薬剤部	430,000円	補	日本学術振興会
悪性胸膜中皮腫の増殖シグナル分子を標的とした局所性療法の開発	吉野 一郎	呼吸器外科	1,040,000円	補	日本学術振興会
新しい超拡大内視鏡システムとマイクロアレイによる気管支異形成遺伝子発現の解析	澁谷 深	呼吸器外科	1,560,000円	補	日本学術振興会
V型コラーゲンによる制御性T細胞の誘導と免疫抑制剤併用による免疫抑制療法の実立	吉田 成利	呼吸器外科	1,430,000円	補	日本学術振興会

臓器固有幹細胞による術後肺再生療法 の開発	和田 啓伸	呼吸器外科	2,730,000円	補	文部科学省
喫煙関連・非喫煙関連肺癌の臨床的・分子 生物学的類型化に基づいた新しい肺 癌治療戦略の開発	吉野 一郎	呼吸器外科	5,000,000円	補	上原記念生命科学財団
頭頸部癌への細胞免疫治療を用いたア ジゼント療法のアプローチ	岡本美孝	耳鼻咽喉・頭頸部外 科	6,700,000円	補	日本学術振興会科学研究 費
下咽頭癌の遠隔転移を引き起こす神経 ペプチドペプチドシグナルの解明	花澤豊行	耳鼻咽喉・頭頸部外 科	1,300,000円	補	日本学術振興会科学研究 費
アレルギー性鼻炎の免疫記憶維持機構 の解明	堀口茂俊	耳鼻咽喉・頭頸部外 科	3,000,000円	補	日本学術振興会科学研究 費
骨系成蛋白(BMP)を用いた中耳再建の 研究	杉本晃	耳鼻咽喉・頭頸部外 科	2,210,000円	補	日本学術振興会科学研究 費
頭頸部癌のリンパ節転移に関するメカニ ズムの解明	茶園英明	耳鼻咽喉・頭頸部外 科	2,990,000円	補	日本学術振興会科学研究 費
代替医療の実態と有効性の科学的評価	岡本美孝	耳鼻咽喉・頭頸部外 科	9,000,000円	補	厚生労働省
肝細胞癌に対する血管新生阻害薬の治 療効果予測因子の検討	横須賀 收	消化器内科	6,370,000円	補	日本学術振興会
薬剤耐性肝炎ウイルス感染の病態解明 と対策に関する研究	横須賀 收	消化器内科	2,000,000円	補	厚生労働科学省
肝炎・肝硬変に対する抗ウイルス剤以外 の治療法に関する研究	横須賀 收	消化器内科	800,000円	補	厚生労働科学省
肝がんの新規治療法に関する研究 経口感染する肝炎ウイルス(A型、E型) の感染防止、遺伝的多様性、および治 療に関する研究	横須賀 收	消化器内科	2,500,000円	補	厚生労働科学省
C型肝炎における肝線維化・発癌に関連 する遺伝子多型の解析	横須賀 收	消化器内科	2,000,000円	補	厚生労働科学省
ウイルス複製・増殖による反炎症抑制 制御の解析—新規抗炎症外用剤の開発 に向けて—	松江 弘之	皮膚科	9,230,000円	補	独立行政法人日本学術振 興会科学研究費
インフラソームを介した悪性黒色腫の 増殖および転移に関する研究	神戸 直智	皮膚科	3,100,000円	補	独立行政法人日本学術振 興会科学研究費
抗ヒスタミン薬治療抵抗性慢性蕁麻疹 におけるIL-1βを起点とする炎症病態の 解析	岩澤 真理	皮膚科	1,950,000円	補	独立行政法人日本学術振 興会科学研究費
呼吸不全に関する調査研究班	巽 浩一郎	呼吸器内科	1,200,000円	補	厚生労働省
原発不明がんの診断・効果的治療の確 立に関する研究	瀧口 裕一	呼吸器内科	500,000円	補	厚生労働省
特異性肺繊維症急性増悪特異的自己 抗体におけるペプチド・抗体療法の開発	黒須 克志	呼吸器内科	1,600,000円	補	文部科学省
COPDにおける全身性炎症の解析—喫 煙が脂肪組織に誘導する炎症反応につ いて	笠原 靖紀	呼吸器内科	1,820,000円	補	文部科学省
がん診療連携拠点病院機能強化事業	瀧口 裕一	呼吸器内科	22,230,000円	補	厚生労働省
原発性肺高血圧症の成因及び肺血管リ モデリングに関する研究	田邊 信宏	呼吸器内科	110,000円	補	(受託)国立循環器病セン ター
COPDと血管内皮細胞障害	坂尾 誠一郎	呼吸器内科	500,000円	補	ちば県民保健予防基金
喫煙関連間質性肺疾患の遺伝子変異を 含む臨床病理学的研究	山田 嘉仁	呼吸器内科	500,000円	補	2009年度のみはな同窓会 学外研究助成
効果的医療技術の確立推進臨床研究事 業「転移性脳腫瘍に対する標準的治療 法確立(MICCC)	主任研究者: 嘉山 孝正、研究協力 者: 佐伯直隆、岩 本 崇	主任研究者: 山形大 学、研究協力者: 千 葉 大幸	300,000円	補	厚生労働省科学研究費
妊婦及び授乳婦に係る臨床及び非臨床 データに基づき、医薬品の催奇形性リス クの評価見直しに関する研究	生水真紀夫	生殖機能病態学	1,000,000円	補	厚労省
短冊切りとフィブリン糊貼付による新しい ヒト卵巣組織凍結保存・移植法の開発	生水真紀夫	生殖機能病態学	1,700,000円	補	文科省
エストロゲン依存性子宮体癌に対するメ ホルミンの臨床応用にむけた研究	三橋 暁	生殖機能病態学	2,600,000円	補	文科省
卵巣がん治療の個別化を目指した卵巣 がんにおけるがん幹細胞の同定	楯 真一	生殖機能病態学	2,340,000円	補	文科省
p57 ^{KIP2} 免疫染色による異常妊娠におけ る続発症発生のリスク分類	木原真紀	婦人科	1,950,000円	補	文科省
子宮頸部腺癌発癌過程においてエピ ジェネティックな遺伝子制御をうける遺伝 子の探索	金谷裕美	周産期母性科	2,080,000円	補	文科省

重症免疫不全マウス腎被膜下移植法を用いた、新しい子宮筋腫動物実験モデルの確立	石川博士	生殖機能病態学	1,365,000円	補	文科省
高密度DNAチップを用いた雄核発生北条奇胎ゲノムのコピー数変化解析	加来博志	周産期母性科	1,950,000円	補	文科省
重粒子治療婦人科腫瘍臨床研究班	生水真紀夫	生殖機能病態学	300,000円	補	科学技術庁
子宮頸部癌がんの危険因子としての喫煙に関する研究	三橋 隼	生殖機能病態学	500,000円	補	喫煙科学研究財団
再発卵巣がんに対するゲムシタピン+イリノテカン併用療法 臨床第I/II相試験	楯真一	生殖機能病態学	1,000,000円	補	財団法人がん集学的治療研究財団
医師不足分野等教育指導推進のための研究	川野みどり	周産期母性科	143,754円	補	千葉大学
進行性前立腺癌に対する分子マーカーの同定と癌進展の分子機構の解明	市川智彦	泌尿器科	3,700,000円	補	日本学術振興会
前立腺癌のホルモン抵抗性獲得の分子機構の解明とオーダーメイド医療への応用	鈴木啓悦	泌尿器科	1,000,000円	補	日本学術振興会
前立腺癌の進展・転移における基底膜分解酵素活性の分子機序の解明と臨床応用	神谷直人	泌尿器科	900,000円	補	日本学術振興会
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究	市川智彦	泌尿器科	400,000円	補	厚生労働省
臨床試験研究経費 泌尿器腫瘍臨床研究班	市川智彦	泌尿器科	100,000円	補	放射線医学総合研究所
臨床試験研究経費 泌尿器腫瘍臨床研究班	鈴木啓悦	泌尿器科	100,000円	補	放射線医学総合研究所
限局性前立腺癌における予後予測因子としての新規バイオマーカーの開発	今本 敬	泌尿器科	1,400,000円	補	日本学術振興会
胸部4D MRIによる呼吸運動動態の解析と臨床応用への基礎的研究	吉田 成利	呼吸器外科	1,000,000円	補	鈴木謙三記念医科学応用研究財団
ラット肺モデルを用いた肺再生療法の開発	吉田 成利	呼吸器外科	250,000円	補	ちば県民保健予防財団
サイトカイン関連遺伝子多型解析に基づいた重症化予測と個別化治療の研究	織田成人	救急部・集中治療部	2,730,000円	補	日本学術振興会
敗血症におけるinflammatory reflexの病態解明とそれに立脚した治療	仲村将高	救急部・集中治療部	1,300,000円	補	日本学術振興会
心肺停止後の蘇生後脳症患者における神経学的予後予測因子の検索-蛋白分解酵素系を介して-	篠崎広一郎	救急部・集中治療部	1,820,000円	補	文部科学省
統合失調症の再発予防の確定に関する研究	伊豫 雅臣	精神医学	1,200,000円	補	厚生労働省
急性呼吸器感染症の感染メカニズムと疫学、感染予防・制御に関する研究	石和田稔彦	小児科	500,000円	補	厚生労働省
ワクチン戦略による麻疹および先天性風疹症候群の排除、およびワクチンで予防可能な麻疹の感染リスク低減のためのワクチンの有用性向上のためのエビデンス及び方策に関する研究	石和田稔彦	小児科	2,000,000円	補	厚生労働省
ワクチンの有用性向上のためのエビデンス及び方策に関する研究	石和田稔彦	小児科	500,000円	補	厚生労働省
先天代謝異常症に対する肝細胞移植の新たな治療戦略	小川真司	小児科	1,200,000円	補	文部科学省
アレルギーのテーラーメイド治療管理ガイドラインの確立と実用化	河野陽一	小児科	2,000,000円	補	厚生労働省
代替医療の実態と有効性の科学的評価	河野陽一	小児科	2,250,000円	補	厚生労働省
アレルギー発症予知のための臍帯血単核球網羅的遺伝子発現研究	下条直樹	小児科	1,800,000円	補	文部科学省
新生児食物蛋白誘発胃腸炎(N-FPIES)の疾患概念確立、実態把握、診断治療指針作成に関する研究	下条直樹	小児科	1,000,000円	補	厚生労働省
インフルエンザ脳症の発症機序の解析	下条直樹	小児科	500,000円	委	徳島大学疾患醸成学研究中心共同研究
アレルギー疾患に係るコホート研究プロジェクト	下条直樹	小児科	16,000,000円	委	千葉大学・理化学研究所共同研究
Gorlin症候群の病態解明と治療法確立のための臨床的研究	藤井克則	小児科	3,000,000円	補	厚生労働省
L-アルギニン治療の実施に関する研究	藤井克則	小児科	1,000,000円	補	厚生労働省
PTCH遺伝子による形態形成・発癌機構の解明	藤井克則	小児科	1,600,000円	補	文部科学省

ホルモン受容機構異常に関する調査研究	皆川真規	小児科	1,800,000円	補	厚生労働省
網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	山本 修一	眼科	3,000,000円	補	厚生労働省
糖尿病網膜症の栄養因子を用いた神経保護的治療戦略の検討	忍足 俊幸	眼科	1,053,000円	補	文部科学省

計 133件

(様式第11号)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
1 Surg Laparosc Endosc Percutan Tech	The successful use of peroral cholangioscopy for the diagnosis and treatment of the biliary tract lesions and giant bile duct stones in a 76-year-old man.	Sakai Y	消化器内科
2 J Gastroenterol	The traditional Japanese medicine Rikkunshito increases the plasma level of ghrelin in humans and mice.	Matsumura T	消化器内科
3 J Hepatol	Association between mutations in the core region of hepatitis C virus genotype 1 and hepatocellular carcinoma development.	Nakamoto S	消化器内科
4 J Hepatobiliary Pancreat Sci	Endoscopic diagnosis of intraductal papillary mucinous neoplasm of the bile duct.	Tsuyuguchi T	消化器内科
5 Radiology	Effect of signal intensity from the accumulated microbubbles in the liver for differentiation of idiopathic portal hypertension from liver cirrhosis.	Maruyama H	消化器内科
6 Br J Radiol	Therapeutic effect of balloon-occluded retrograde transvenous obliteration for gastric varices in relation to haemodynamics in the short gastric vein.	Maruyama H	消化器内科
7 Hum Pathol	Distinct expression of polycomb group proteins EZH2 and BMI1 in hepatocellular carcinoma.	Yonemitsu Y	消化器内科
8 Liver Int	Phylogenetic analysis of hepatitis A virus in sera from patients with hepatitis A of various severities.	Fujiwara K	消化器内科
9 Dig Dis Sci	Adsorptive Depletion of alpha4 Integrin(hi)- and CX(3)CR1 (hi)-Expressing Proinflammatory Monocytes in Patients with Ulcerative Colitis.	Takeda S	消化器内科
10 Clin J Gastroenterol	Opportunistic infection in the patients with acute liver failure: a report of three cases with one fatality.	Arai M	消化器内科
11 Cancer Res	MBP-1 inhibits breast cancer growth and metastasis in immunocompetent mice.	Kanda T	消化器内科
12 Cancer Sci	Prognostic significance of genetic alterations detected by high-density single nucleotide polymorphism array in gastric cancer.	Tada M	消化器内科
13 J Investig Allergol Clin Immunol.	Beneficial effects of leukotriene receptor antagonists in the prevention of cedar pollinosis in a community setting.	Yonekura S, Okamoto Y, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科
14 Allergy Asthma Proc. 2009;30(4)	Effects of daily intake of Lactobacillus paracasei strain KW3110 on Japanese cedar pollinosis.	Yonekura S, Okamoto Y, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科
15 Cancer Sci. 2009; 100(6):1092-8	Combination therapy of in vitro-expanded natural killer T cells and alpha-galactosylceramide-pulsed antigen-presenting cells in patients with recurrent head and neck The induced regulatory T-cell level, defined as the proportion of IL 10 +Foxp3+ cells among CD25+CD4+ leukocytes is an available therapeutic biomarker for	Kuniji N, Horiguchi S, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科
16 Int Arch Allergy Immunol. 2010;		Fujimura T, Yonekura S, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科
17 Allergy Asthma Proc in press.	Reevaluation of pollen quantitation by an automatic pollen counter.	Muradil M, Okamoto Y, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科
18 Int Arch Allergy Immunol. 2009;	Cedar and Cypress Pollinosis and Allergic Rhinitis: Quality of Life Effects of Early Intervention with Leukotriene Receptor Antagonists.	Sasaki K, Okamoto Y, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科
19 Int J Cancer. In press.	miR-145, miR-133a and miR-133b: Tumor suppressive miRNAs targets FSCN1 in esophageal squamous cell carcinoma.	Kano M, Seki N, Kikkawa N, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科
20 Allergol Int. 2009;58(2):155-62	Present Situation of Cedar Pollinosis in Japan and its Immune Responses.	Okamoto Y, Horiguchi S, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科
21 Allergology International 59:21-	Antigen-Specific Immunotherapy against Allergic Rhinitis: The State of the Art.	Fujimura T, Okamoto Y.	耳鼻咽喉・頭頸部外科
22 Nephron Exp Nephrol	Low-dose darbepoetin alpha attenuates progression of a mouse model of aristolochic acid nephropathy through early tubular protection.	Hamano Y	腎臓内科
23 Therapeutic Research	慢性血栓性肺高血圧症における深部静脈血栓症の部位と肺血栓の関連について	寒竹政司、巽浩一郎、他	呼吸器内科
24 Therapeutic Research	大動脈炎症候群または線維筋性異形成症の関与が示唆された肺動脈および体動脈に多発性の狭窄・途絶を認める若年性肺高血圧症の1例	矢野利章、笠原靖紀、田邊信宏、滝口隼一、巽浩一郎	呼吸器内科
25 日本呼吸器学会雑誌	血液透析患者に発症し、ボセンタンが著効したシェーグレン症候群合併肺高血圧症の1例	安田直史、田邊信宏、滝口隼一、巽浩一郎、栗山泰	呼吸器内科
26 Resp Physio & Neurobiology	Attenuated phrenic long-term facilitation in orexin neuron-ablated mice.	Toyama, S., Tatsumi, K., Kuwaki, T., et al.	呼吸器内科

27	J Am Geriatr Soc	Hochuekkito improves systemic inflammation and nutritional status in elderly patients with chronic obstructive pulmonary disease.	Tatsumi, K., Kuriyama, T., Enkuchi, Y., et al.	呼吸器内科
28	Ann Vasc Dis	Diagnosis and Vasculopathy in Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension.	Tanabe, N.	呼吸器内科
29	Lung Cancer	Phase I/II study of docetaxel and S-1, an oral fluorinated pyrimidine, for untreated advanced non-small cell lung cancer.	Takiguchi, Y., Tada, Y., Niitani, H., et al.	呼吸器内科
30	Int J Cardiol	Right atrium contractility and right ventricular diastolic function assessed by pulsed tissue Doppler imaging can predict brain natriuretic peptide in adults with acquired transdifferentiation.	Shiina, Y., Tanabe, N., Kuriyama, T.	呼吸器内科
31	Int J Cardiol	Doppler imaging predicts cardiac events in chronic pulmonary thromboembolism.	Shiina, Y., Tanabe, N., Kuriyama, T.	呼吸器内科
32	Respir Res	Endothelial cells and pulmonary arterial hypertension: apoptosis, proliferation, interaction and transdifferentiation.	Sakao, S., Tatsumi, K., Monkel, M.F., et al.	呼吸器内科
33	Am J Respir Cell Mol Biol	Reversible or Irreversible Remodeling in Pulmonary Arterial Hypertension.	Sakao, S., Tatsumi, K., Monkel, M.F., et al.	呼吸器内科
34	Respirology	Chronic obstructive pulmonary disease and interstitial lung disease in patients with lung cancer.	Mizuno, S., Takiguchi, Y., Tanabe, N.	呼吸器内科
35	J Hum Genet	HLA-DPB1 and NFKBIL1 may confer the susceptibility to chronic thromboembolic pulmonary hypertension in the absence of deep vein thrombosis.	Kominami, S., Tanabe, N., Tatsumi, K.	呼吸器内科
36	Inter Med	Durable hypogammaglobulinemia associated with thymoma (Good syndrome).	Kitamura, A., Takiguchi, Y., Tanabe, N.	呼吸器内科
37	Lung Cancer	Prediction of lymph node metastasis by gene expression profiling in patients with primary resected lung cancer.	Moriya Y.	呼吸器外科
38	Int J Oncol	Promoter hypermethylation of the p16 and Wif-1 genes as an independent prognostic marker in stage I A non-small cell lung cancers.	Yoshino M.	呼吸器外科
39	Eur J Cardiothorac Surg	Applicability of the revised International Association for the Study of Lung Cancer staging system to operable non-small cell lung cancers.	Suzuki M.	呼吸器外科
40	Ann Surg Oncol	Molecular characterization of chronic obstructive pulmonary disease-related non-small cell lung cancer through aberrant methylation and alterations of EGFR.	Suzuki M.	呼吸器外科
41	Acta Cytol	Pyothorax-associated lymphoma diagnosed by preoperative pleural effusion aspirate cytology	Moriya Y.	呼吸器外科
42	臨床と研究	「増加する肺癌 早期診断と治療」治療とマネジメント 肺癌治療における外科療法	吉野 一郎	呼吸器外科
43	日本レーザー医学会	「特殊光を用いた内視鏡診断」Narrow Band Imagingを用いた気管支粘膜観察の有用性	澁谷 潔	呼吸器外科
44	最新医学	胸腔内浄化にDRPMが有効であった有膿性膿胸の一例	吉田 成利	呼吸器外科
45	日本老年医学会	高齢者の手術 その可能性と限界 高齢者肺癌に対する外科治療	吉田 成利	呼吸器外科
46	肺癌	原発性非小細胞肺癌におけるWntシグナルとEGFRシグナルの同期的異常	鈴木 実	呼吸器外科
47	Journal of Biomedical Optics	Objective evaluation of visibility in virtual chromoendoscopy for esophageal squamous carcinoma using a color difference.	Masahito Inoue	光学医療診療部
48	肝胆膵	胆道炎・胆道癌診療ガイドライン検証	宮崎 勝	手術部
49	肝胆膵	肺癌外科切除後の局所再発に対する再切除成績	宮崎 勝	手術部
50	消外 Nursing	マンガdeまるわかりしくみとケアがセットでわかる！消化器外科の解剖生理・胆道	竹内 男	手術部
51	消化器肝胆膵ケア	胆道癌の検査・診断と治療の適応	須田浩介	手術部
52	J Surg Res	Interleukin-18 exacerbates pulmonary injury after hepatic ischemia/reperfusion in mice.	Takeuchi D	手術部
53	Am J Surg	Risk factors of liver dysfunction after extended hepatic resection in biliary tract malignancies.	Suda K	手術部

54	World Journal of Surgery	Clinical and Pathologic Evaluation of the Effectiveness of Neoadjuvant Chemoradiation Therapy in Advanced Esophageal Cancer Patients	Akutsu Y	食道胃腸外科
55	BMC Cancer	Identification of Makorin 1 as a novel SEREX antigen of esophageal squamous cell carcinoma	Shimada H	食道胃腸外科
56	Nature Medicine	A crucial role for adiposetissue p53 in the regulation of insulin resistance	Minamino T	循環器内科
57	Diseases of the colon and rectum	Quantitative measurement of blood flow using perfusion CT for assessing clinicopathologic features and prognosis in patients with rectal cancer	Hayano K	食道胃腸外科
58	Anticancer Research	Effects of Carbon-ion Radiotherapy combined with a Novel Histone Deacetylase Inhibitor, Cyclic Hydroxamic-acid-containing Peptide, 31, in Human Esophageal	Kano M	食道胃腸外科
59	Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery	Perioperative Management for the Prevention of Postoperative Pneumonia with Esophageal Surgery	Akutsu Y	食道胃腸外科
60	International Journal of Infectious Diseases	Comparison between concentrations of amphotericin B in infected lung lesion and in uninfected lung tissue in a patient treated with liposomal amphotericin B	Watanabe A	感染症管理治療部
61	Cancer Science	Viral shedding after p53 adenoviral gene therapy in 10 cases of esophageal cancer	Kawahira H	食道胃腸外科
62	Medical Education (Japan).2008; 40:327-332	Effectiveness of a training program using a mannequin-based simulator for central venous catheterization	Tanabe M,	総合医療教育研修センター
63	VR医学 .2009;7:18-23	学部教育・卒後研修におけるシミュレータを利用した教育の現状	田邊政裕	総合医療教育研修センター
64	精神科看護. 2010;36:30-33	医学部からみた専門職連携教育の意義と臨床での課題	朝比奈真由美	総合医療教育研修センター
65	自律神経. 2009;46:248-253	身体障害者において浸水負荷が血圧と脈拍に与える影響:加齢および基礎疾患との関連	朝比奈真由美	総合医療教育研修センター
66	保健医療福祉連携. 2010;2:37-39	ワークショップ 対立と葛藤の解決を学ぶ授業	朝比奈真由美	総合医療教育研修センター
67	Ann Neurol. 2009;66(3):425-428	"Cloud-like enhancement" is a magnetic resonance imaging abnormality specific to neuromyelitis optica.	Ito S.	総合医療教育研修センター
68	Intern Med. 2009;48(21):1909-13	Diffuse neurosarcoidosis involving only the leptomeninges of the brainstem and spinal cord	Ito S.	総合医療教育研修センター
69	European Neurological Review 2009;4(1):108-111	Progressive supranuclear palsy and diffusion tensor imaging.	Ito S.	総合医療教育研修センター
70	Neurology 2009	Correspondence: Posterior reversible encephalopathy syndrome in neuromyelitis optica spectrum disorders	Ito S.	総合医療教育研修センター
71	Am J Neuroradiol 2009;30(4):689-92	Putaminal hyperintensity on T1-weighted MRI in patients with the Parkinson variant of multiple system atrophy	Ito S.	総合医療教育研修センター
72	J Surg Res.	Preoperative GATA3 mRNA expression in peripheral blood mononuclear cells is up-regulated in patients with postoperative infection following hepatobiliary pancreatic	Kawamoto J	肝胆膵外科
73	Shock.	Does prolonged biliary obstructive jaundice sensitize the liver to endotoxemia?	Iida A	肝胆膵外科
74	Am J Surg.	Risk factors of liver dysfunction after extended hepatic resection in biliary tract malignancies.	Suda K	肝胆膵外科
75	J Surg Res.	Induction of antitumor response by in vivo allogeneic major histocompatibility complex gene transfer using electroporation	Shimizu H	肝胆膵外科
76	Int J Oncol.	Significance of monocyte chemoattractant protein-1 in angiogenesis and survival in colorectal liver metastases.	Yoshidome H	肝胆膵外科
77	Hepatogastroenterology.	Role of Kupffer cells in tolerance induction after portal venous administration of alloantigen.	Shimizu H	肝胆膵外科
78	Hepatogastroenterology.	Effect of excessive acute-phase response on liver regeneration after partial hepatectomy in rats.	Kusashio K	肝胆膵外科
79	J Hepatobiliary Pancreat Sci.	Surgical strategy for mucin-producing bile duct tumor.	Ohtsuka M	肝胆膵外科
80	Hum Pathol.	Reg IV expression and clinicopathologic features of gallbladder carcinoma.	Tamura H	肝胆膵外科

81	Ann Surg.	Aggressive surgical resection for hilar cholangiocarcinoma of the left-side predominance: radicality and safety of left-sided hepatectomy.	Shimizu H	肝胆膵外科
82	Neuroepidemiology	Prediction of hemorrhagic transformation in ischemic stroke.	Hiraga A	神経内科
83	Neuroepidemiology	Prediction and prevention of death after first-ever ischemic stroke.	Hiraga A	神経内科
84	Clin Neurophysiol	Put the right person in the right place: Segmental evaluation of the peripheral nerve for a diagnosis of CIDP.	Kuwabara S	神経内科
85	Clin Auton Res	Sphincter EMG as a diagnostic tool in autonomic disorders.	Sakakibara R	神経内科
86	Neurology	Sudomotor, skin vasomotor, and cardiovascular reflexes in 3 clinical forms of Lewy body disease.	Akaogi Y	神経内科
87	Clin Neurophysiol	The effects of age, gender, and body mass index on amplitude of sensory nerve action potentials: multivariate analyses.	Fujimaki Y	神経内科
88	Neuroradiology	Ataxia and middle cerebellar peduncle lesions in hepatic encephalopathy.	Furukawa R	神経内科
89	Intern Med	Neuroaspergillosis in an immunocompetent patient successfully treated with voriconazole and a corticosteroid.	Hiraga A	神経内科
90	J Clin Neurosci	Pure monoparesis of the leg due to cerebral infarctions: a diffusion-weighted imaging study.	Hiraga A	神経内科
91	J Neurol Neurosurg Psychiatry	Reduced perfusion in the anterior cingulate cortex of patients with pure autonomic failure: an 123I-IMP SPECT study.	Hirano S	神経内科
92	Mov Disord	Metabolic networks for assessment of therapy and diagnosis in Parkinson's disease.	Hirano S	神経内科
93	Int J Urol	A randomized, double-blind, placebo- and propiverine-controlled trial of the novel antimuscarinic agent imidafenacin in Japanese patients with overactive bladder.	Homma Y	神経内科
94	J Peripher Nerv Syst	Utility of the distal compound muscle action potential duration for diagnosis of demyelinating neuropathies.	Isose S	神経内科
95	Neurology	Posterior reversible encephalopathy syndrome in neuromyelitis optica spectrum disorders.	Ito S	神経内科
96	Ann Neurol	"Cloud-like enhancement" is a magnetic resonance imaging abnormality specific to neuromyelitis optica.	Ito S	神経内科
97	AJNR Am J Neuroradiol	Putaminal hyperintensity on T1-weighted MR imaging in patients with the Parkinson variant of multiple system atrophy.	Ito S	神経内科
98	Mov Disord	Preserved cardiac (123I)-MIBG uptake and lack of severe autonomic dysfunction in a PARK9 patient.	Kanai K	神経内科
99	J Med Genet	Physicochemical property changes of amino acid residues that accompany missense mutations in SCN1A affect epileptic phenotype severity.	Kanai K	神経内科
100	J Neurol Sci	Thalamic infarction disrupts spinothalamic cortical projection to the mid-cingulate cortex and supplementary motor area.	Kishi M	神経内科
101	Cerebellum	Altered heart rate control in response to postural change in patients with Machado-Joseph disease (SCA3).	Koyama Y	神経内科
102	Neuromuscul Disord	Relapse of POEMS syndrome without increased level of VEGF.	Kuwabara S	神経内科
103	Intern Med	Diffuse neurosarcoidosis involving only the leptomeninges of the brainstem and spinal cord.	Makinō T	神経内科
104	J Peripher Nerv Syst	Neuropathic pain is associated with increased nodal persistent Na ⁺ currents in human diabetic neuropathy.	Misawa S	神経内科
105	Eur J Neurol	Exercise-induced hypertension in pure autonomic failure.	Ogawa E	神経内科
106	Bone Marrow Transplant	Successful combination treatment with bevacizumab, thalidomide and autologous PBSC for severe POEMS syndrome.	Ohwada C	神経内科
107	Neurology	Neurologic improvement after peripheral blood stem cell transplantation in POEMS.	Sabatelli M	神経内科

108	Neurol Sci	Aseptic meningitis as the sole manifestation of Behcet's disease.	Sakakibara R	神経内科
109	Neurol Urodyn	Prevalence and mechanism of bladder dysfunction in Guillain-Barre Syndrome.	Sakakibara R	神経内科
110	J Am Geriatr Soc	How to manage overactive bladder in elderly individuals with dementia? A combined use of donepezil, a central acetylcholinesterase inhibitor, and trimoxane...	Sakakibara R	神経内科
111	Mov Disord	Gastric myoelectrical differences between Parkinson's disease and multiple system atrophy.	Sakakibara Y	神経内科
112	Neurology	Mapping of brain acetylcholinesterase alterations in Lewy body disease by PET.	Shimada H	神経内科
113	LUTS	Pelvic autonomic dysfunction without tetraparesis: a sequel of rubella-related acute longitudinal myelitis.	Takahashi O	神経内科
114	Ann Neurol	Chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy sera inhibit axonal growth of mouse dorsal root ganglion neurons by activation of Rho-kinase.	Taniguchi J	神経内科
115	Mov Disord	Comparing bromocriptine effects with levodopa effects on bladder function in Parkinson's disease.	Uchiyama T	神経内科
116	Neuroscience	Biphasic effect of apomorphine, an anti-parkinsonian drug, on bladder function in rats.	Uchiyama T	神経内科
117	J Neurol Sci	Truncal polyradiculopathy due to sarcoidosis.	Uzawa A	神経内科
118	J Neurol	Markedly increased CSF interleukin-6 levels in neuromyelitis optica, but not in multiple sclerosis.	Uzawa A	神経内科
119	J Neurol Sci	Association of anti-aquaporin-4 antibody-positive neuromyelitis optica with myasthenia gravis.	Uzawa A	神経内科
120	Mov Disord	Dopamine agonist-induced antecollis in Parkinson's disease.	Uzawa A	神経内科
121	Autophagy	Gangliosides' protection against lysosomal pathology of synucleinopathies.	Wei J	神経内科
122	Neurol Urodyn	Effects of electrical stimulation of the striatum on bladder activity in cats.	Yamamoto T	神経内科
123	Mov Disord	Questionnaire-based assessment of pelvic organ dysfunction in multiple system atrophy.	Yamamoto T	神経内科
124	Auton Neurosci	Spectral analysis of heart rate variability in patients with Machado-Joseph disease.	Asahina M	神経内科
125	Clin Neurophysiol	Mexiletine suppresses nodal persistent sodium currents in sensory axons of patients with neuropathic pain.	Isose S	神経内科
126	Intern Med	Multifocal conduction blocks in sarcoid peripheral neuropathy.	Sawai S	神経内科
127	J Neuroimmunol	Serum levels of complement C4 fragments correlate with disease activity in multiple sclerosis: proteomic analysis.	Sawai S	神経内科
128	Proc Natl Acad Sci U S A	Myelin-associated glycoprotein mediates membrane fusion and entry of neurotropic herpesviruses.	Suenaga T	神経内科
129	Intern Med	Posterior cerebral artery territory infarction associated with persistent primitive hypoglossal artery with internal carotid artery atherosclerosis.	Uzawa A	神経内科
130	Eur J Neurol	Different responses to interferon beta-1b treatment in patients with neuromyelitis optica and multiple sclerosis.	Uzawa A	神経内科
131	Neurosci Lett	Neuronal activities of forebrain structures with respect to bladder contraction in cats.	Yamamoto T	神経内科
132	日本臨床	パーキンソン病 基礎・臨床研究のアップデート】検査・診断 自律神経障害とその機能検査法 消化管機能.	朝比奈正人	神経内科
133	Clinical Neuroscience	【脊髄小脳変性症 What's new?】症候と検査 自律神経検査.	朝比奈正人	神経内科
134	日本温泉気候物理医学会雑誌	保険診療機関における鍼灸治療の現状と将来への期待 神経内科と鍼灸治療.	川口直樹	神経内科

135	臨床脳波	【神経筋接合部】重症筋無力症における筋興奮収縮連関の評価法.	桑原聡	神経内科
136	自律神経	糖尿病性ニューロパチー 最近の話題.	桑原聡	神経内科
137	臨床脳波	脳波・筋電図の臨床 血液神経関門と感覚神経伝導 脱髄型ギラン・バレー症候群にみられるabnormal median-normal sural sensory responses.	桑原聡	神経内科
138	神経内科	【難治性ニューロパチー】Crow-Fukase症候群に対する新規治療.	桑原聡	神経内科
139	医療	【糖尿病のフットケア】糖尿病性ニューロパチーと足病変.	桑原聡	神経内科
140	内科	【専門医へのコンサルト 私のタイミングとコツ】ものわすれ.	吉山容正	神経内科
141	神経内科	【慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー(CIDP)の多様性】CIDPの電気生理学的特徴.	桑原聡	神経内科
142	臨床脳波	筋萎縮性側索硬化症【筋萎縮性側索硬化症における解離性小手指萎縮:Split hand.	桑原聡	神経内科
143	日本医事新報	傍腫瘍性辺縁系脳炎に対する免疫抑制治療.	朝比奈正人	神経内科
144	自律神経	身体障害者において浸水負荷が血圧と脈拍に与える影響:加齢および基礎疾患との関連.	朝比奈真由美	神経内科
145	神経治療学	多発性硬化症患者へのアンケートによるinterferon β -1a と1b療法と比較検討.	鵜沢顕之	神経内科
146	日本臨床	【パーキンソン病 基礎・臨床研究のアップデート】病因関連遺伝子 ATP13A2(PARK9;Kufor-Rakeb症候群).	金井教明	神経内科
147	発汗学	温熱負荷時の皮膚の痛みが病初期のみ出現した特発性後天性全身性無汗症.	藤沼好克	神経内科
148	自律神経	神経内科外来における失神診療の現状:103例における検討.	藤沼好克	神経内科
149	総合リハビリテーション	【神経因性膀胱の話題】各疾患における神経因性膀胱脊髄小脳変性症.	山本達也	神経内科
150	最新の診療指針-(鈴木則宏編)南江堂	脊髄血管障害, 神経疾患・診療ガイドライン	伊藤彰一	神経内科
151	今日の診断指針-第6版(金澤一郎, 永井良三編)医学書院	自律神経ニューロパチー.	桑原聡	神経内科
152	今日の診療指針-私はこう治療している(山口徹, 北原光夫, 福井次生編)医学書院	手根管症候群.	桑原聡	神経内科
153	EBM神経疾患の治療2009-2010(岡本幸市, 棚橋紀夫, 水澤基洋編)中外医学社.	多巣性運動ニューロパチーに最新治療は.	桑原聡	神経内科
154	研修医のための神経内科診療(阿部孝二編)新興医学出版.	自律神経機能検査(含MIBG心筋シンチ)	桑原聡	神経内科
155	からだの科学(鈴木則宏編)日本評論社.	神経内科の病気のすべて・慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー	桑原聡	神経内科
156	Int J Radiat Oncol Biol Phys	Three-staged stereotactic radiotherapy without whole brain irradiation for large metastatic brain tumors.	Higuchi Y	脳神経外科
157	Acta Neurochir (Wien)	Akt/protein kinase B overexpression as an accurate prognostic marker in adult diffuse astrocytoma.	Matsutani T	脳神経外科
158	J Neurol Neurosurg Psychiatry	Hearing preservation and intraoperative auditory brainstem response and cochlear nerve compound action potential monitoring in the removal of small acoustic	Yamakami I	脳神経外科
159	Int J Oncol.	Characteristic gene expression profiles of benign prostatic hypertrophy and prostate cancer.	Endo T	泌尿器科
160	Urology	External Validation of a Nomogram Predicting the Probability of Prostate Cancer Gleason Sum Upgrading Between Biopsy and Radical Prostatectomy Pathology.	Imamoto T	泌尿器科
161	Int J Urol.	Computer-based endoscopic image-processing technology for endourology and laparoscopic surgery.	Igarashi T	泌尿器科

162	PLoS One.	Cytokine-based log-scale expansion of functional murine dendritic cells.	Harada Y	泌尿器科
163	J Immunol.	Sustained and NK/CD4+ T cell-dependent efficient prevention of lung metastasis induced by dendritic cells harboring recombinant Sendai virus.	Komaru A	泌尿器科
164	SHOCK	YKL-40 identified by proteomic analysis as a biomarker of sepsis	Noriyuki Hattori	救急部・集中治療部
165	Critical Care	S-100B and neuron-specific enolase as predictors of neurological outcome in patients after cardiac arrest and return of spontaneous circulation: a systematic review	Koichiro Shinozaki	救急部・集中治療部
166	Cytokine	The effects of body temperature control on cytokine production in a rat model of ventilator-induced lung injury	Yasumasa Morita	救急部・集中治療部
167	Brain Research	TNF- α contributes to axonal sprouting and functional recovery following traumatic brain injury	Taku Oshima	救急部・集中治療部
168	Clinical Biochemistry	Clinical application of cytokine-related gene polymorphism analysis using a newly developed DNA chip in critically ill patients	Shunsuke Otani	救急部・集中治療部
169	Resuscitation	Serum S-100B is superior to neuron-specific enolase as an early prognostic biomarker for neurological outcome following cardiac pulmonary resuscitation	Koichiro Shinozaki	救急部・集中治療部
170	Clinical Medicine	Association between Polymorphisms in Genes Related to Common Adult Diseases and Fetal Growth.	長田久夫	生殖機能病態学
171	Ann Oncol	Serum YKL-40 as a marker for cervical adenocarcinoma.	三橋暁	生殖機能病態学
172	J Clin Endocrinol Metab	High Aromatase Expression in Uterine Leiomyoma Tissues of African-American Women	石川博士	生殖機能病態学
173	J Reprod Med	Comparison of 2 commercially available human chorionic gonadotropin immunoassays used in the management of gestational trophoblastic neoplasia	木原真紀	婦人科
174	Jpn J Clin Oncol	Vessel-contouring-based pelvic radiotherapy in patients with uterine cervical cancer.	三橋暁	生殖機能病態学
175	J Clin Endocrinol Metab	Progesterone and Mifepristone Regulate L-Type Amino Acid Transporter 2 and 4F2 Heavy Chain Expression in Uterine Leiomyoma Cells	石川博士	生殖機能病態学
176	Semin Reprod Med	17 β -Hydroxysteroid Dehydrogenase-2 Deficiency and Progesterone Resistance in Endometriosis	石川博士	生殖機能病態学
177	Acta Cytol	Cytologic findings of low grade endometrial stromal sarcoma with sex cord-like differentiation: a case report	橋 真一	生殖機能病態学
178	Cancer Res	Transcription Factor KLF11 Integrates Progesterone Receptor Signaling and Proliferation in Uterine Leiomyoma Cells	石川博士	生殖機能病態学
179	Hum Reprod	The risk of post-molar gestational trophoblastic neoplasia is higher in heterozygous than in homozygous complete hydatidiform moles	碓井 宏和	生殖機能病態学
180	Ann Surg Oncol	Clinical Significance of Axillary Microresiduals After Neoadjuvant Chemotherapy in Breast Cancer Patients with Cytologically Proven Metastases	Sakakibara M	乳腺・甲状腺外科
181	Jpn J Radiol	Surrounding rim formation and reduction in size after radiofrequency ablation for primary breast cancer.	Nagashima T	乳腺・甲状腺外科
182	Eur J Cancer	Accumulation of regulatory T cells in sentinel lymph nodes is a prognostic predictor in patients with node-negative breast cancer	Nakamura R	乳腺・甲状腺外科
183	Int J Cancer	Stromal MCP-1 in mammary tumors induces tumor-associated macrophage infiltration and contributes to tumor progression	Fujimoto H	乳腺・甲状腺外科
184	Microvasc Res.	Growth Inhibition and Differentiation of Cultured Smooth Muscle Cells Depend on Cellular Crossbridges Across the Tubular Lumen of Type I Collagen Matrix	Suzuki T	薬剤部
185	Int J Clin Pharmacol Ther.	Unexpected serum level of vancomycin after oral administration in a patient with severe colitis and renal insufficiency	Yamazaki S	薬剤部
186	Int J Infect Dis.	Comparison between concentrations of amphotericin B in infected lung lesion and in uninfected lung tissue in a patient treated with liposomal amphotericin B	Nakamura Y	薬剤部
187	医薬品情報学	粉碎調剤後の安定性の情報に関する調査・検討.	増田和司	薬剤部
188	日本東洋医学雑誌	入院での漢方薬処方取り扱いの問題点 —薬剤師及び病棟看護師に対するアンケート調査からの検討—	長谷川教	薬剤部

189	日本東洋医学雑誌	抗がん剤の調剤の現状と問題点 —保険調剤薬局に対するアンケート調査による検討—	長谷川敦	薬剤部
190	医療薬学	上皮成長因子受容体(EGFR)体細胞変異の簡易診断法開発と臨床応用.	有吉範高	薬剤部
191	医療薬学	フルファン治療個別化に利用可能な簡易・同時遺伝子診断法の確立.	有吉範高	薬剤部

計 191

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 河野陽一		
管理担当者氏名	企画情報部長 高林 克日己	薬剤部長 北田 光一	
	医療安全管理部長 宮崎 勝		
	総務課長 塩崎 英司	医事課長 宮崎 裕幾	

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		各診療科 企画情報部 及び薬剤部 医事課(診療情報管理係)	診療録は、入院・外来別に一患者一ファイル方式により管理している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	/
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課及び薬剤部		
第規一則号第一に掲げる十の第一項各号及び第九條の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部及び医事課	/
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部及び医事課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部及び医事課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部及び医事課	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部及び医事課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染症管理治療部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部及び医事課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部及び医事課	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染症管理治療部及び医事課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染症管理治療部及び医事課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染症管理治療部及び医事課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染症管理治療部及び医事課
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医療安全管理部及び薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部及び薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全管理部及び薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部及び薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療安全管理部及びME機器管理センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部及びME機器管理センター
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療安全管理部及びME機器管理センター
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部及びME機器管理センター		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 河野 陽一
閲覧担当者氏名	総務課長 川村 篤 管理課長 深松 順一 経営企画課長 佐川 光男 医事課長 宮崎 裕幾
閲覧の求めに応じる場所	会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	88.0%	算定期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数		17,515人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		13,053人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		2,114人
	D：初診の患者の数		24,090人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容：別添「資料 1」のとおり	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 11 回
・ 活動の主な内容：別添「資料 2」のとおり	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 8 回
・ 研修の主な内容：別添「資料 3」のとおり	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： メディカルリスクマネジメントマニュアルの一部改訂・各リスクマネージャーへの周知 医療安全管理部のホームページを大幅に更新 インシデント事例からの改善策を、リスクマネージャー連絡会議やホームページで周知	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (2 名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (5 名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
・ 所属職員： 専任 (3) 名 兼任 (17) 名 ・ 活動の主な内容： インシデント報告の収集・分析・具体的な改善策の提案及び現場へのフィードバックに関すること 医療安全のための研修の企画・運営に関すること 医療事故等の原因究明・関係する診療録等の記載の確認・指導に関すること 医療事故防止・病院倫理委員会の庶務及びその他医療安全に関わる連絡調整に関すること その他医療安全対策に関すること	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況

【指針の主な内容】

千葉大学医学部附属病院における医療事故防止に関する基本方針

医療事故の防止については、医療行為を行う医療従事者個人の努力はもとより必要であるが、高度化・複雑化する医療環境の中では医療従事者個人の努力に依存した事故防止のみでは対応に限界があり、組織的な取組みが必要である。このため千葉大学医学部附属病院(以下「病院」という。)が組織的に医療事故の防止について検討し、患者に安全・確実な医療を提供するため、次のとおり基本方針を定めるものとする。

- 1 病院における医療事故防止対策は、病院長、副病院長(安全管理担当)、医療安全管理部及び医療事故防止・病院倫理委員会を中心に病院全体で取り組むものとする。
- 2 医療事故及びインシデントに関する情報は、早期に把握することが重要であることから「千葉大学医学部附属病院インシデント及び医療上の事故発生時の対応に関する取扱要項」に示す報告ルートに従い、迅速な対応に努めるものとする。
ただし、医療事故及びインシデントの報告については、患者のプライバシーに十分配慮するものとする。
- 3 医療事故及びインシデントのリスクの把握・分析・改善・評価については、医療安全管理部が行い、医療事故防止・病院倫理委員会において審議するものとする。また、分析・改善の際、個人の問題としてだけでなくシステムの問題として、予防の視点で医療事故等の原因や状況の分析・改善を行うものとする。
- 4 前記3の重要な情報は、病院職員に還元し共有するものとする。
また、必要に応じて、その情報を公表し、医療界全体の医療事故防止に貢献するものとする。
- 5 すべての病院職員の理解を深めるために、医療事故防止に関する教育・研修を行い、啓発に努めるものとする。
- 6 「メディカルリスクマネジメントマニュアル」を作成し、病院職員に周知する。
なお、本マニュアルは、必要に応じて改善するものとする。
- 7 医療安全管理部及び医療事故防止・病院倫理委員会は、他の関連委員会等と連携し、医療事故防止に取り組むものとする。
- 8 インフォームドコンセント、診療情報の開示及びセカンドオピニオン等により、患者が自らの治療方針を決定できる環境を整えるものとする。
- 9 本基本方針は、患者等から閲覧の申請があった場合には、これを認めるものとする。
- 10 患者相談の担当部署と連携を図り、患者・家族等の経済的、心理的及び社会的相談の対応、その他、意見・要望の受け入れなど、病院機能の改善に努力するものとする。
- 11 医療安全管理部及び医療事故防止・病院倫理委員会の運営に関し、必要な事項は別に定める。
- 12 本基本方針は、必要に応じて見直すものとする。

附 則

この基本方針は、平成16年4月1日から施行する。

(中略)

附 則

この基本方針は、平成19年4月1日から施行する。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況

【活動の主な内容】

- ・ 医療安全管理部規程の一部改正について
- ・ 「本院における患者の権利」、「医療倫理要綱」、「より良いパートナーシップのために」の見直しについて
- ・ インシデントにより発生したコストの取り下げについて
- ・ 「本院における患者の権利」及び「医療倫理要綱」の見直しについて
- ・ 放射線部における造影検査の業務分担の明確化について
- ・ メディカルリスクマネジメントマニュアルの一部改正について
- ・ ベストプラクティスの開催について
- ・ インシデント事例からの改善について
- ・ 重要インシデントに係る改善策の検討について
- ・ インシデント発生時の対応が問題となった事例について
- ・ 平成21年度医療安全・質向上のための相互チェックについて
- ・ 輸血を拒否している患者への対応について
- ・ 「本棚が倒れ、前額部を打撲し、診療費用が発生した」事例について
- ・ 医薬品の安全使用のための業務手順書の改訂（第3版）について
- ・ メディカルリスクマネジメントマニュアルの改訂（第6版）について
- ・ 重要インシデントからの改善結果報告について
- ・ メディカルリスクマネジメントマニュアルの改訂（案）について
- ・ 死亡診断書の記載に関することについて
- ・ 神経内科転倒事例のその後の報告について
- ・ 「千葉大学医学部附属病院インシデント報告及び医療上の事故発生時の対応に関する取扱要項」の一部改訂（案）について
- ・ メディカルリスクマネジメントマニュアルの一部改訂（案）について
- ・ 誤投与に関するインシデントについて
- ・ メディカルリスクマネジメントマニュアル「I-N. チーム医療の推進について」の改訂（案）について
- ・ 外用ボスミンの誤投与からの改善報告について
- ・ 使用期限切れクリアクター注の投与について
- ・ メディカルリスクマネジメントマニュアル「II-K. 安全な経腸栄養を行うために」の改訂（案）について
- ・ インシデント事例からの改善について
- ・ 重要インシデント事例に係る改善策の検討について

規則第1条の11各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

③ 医療にかかる安全管理のための職員研修の実施状況

【研修の主な内容】

開催日	研修会の名称、内容	受講対象者、 受講者数	備考
21. 7. 1/ 7. 6/ 7.10/ 7.15	【BLS (AEDを含む) 院内教育】：前年度の未受講者、異動者を対象に、救急部の教員が講師となり、AEDの使用方法等に関する講義、実技指導を行った。	全職員 (未受講者、異動者)	50名
21. 9. 7/ 9.11/ 9.14/ 9.18	【医療事故防止セミナーⅠ】「薬剤・MRI検査・ME機器の安全管理」：薬剤部の薬剤師、放射線部の臨床放射線技師及びME機器管理センターの臨床工学技士が講師となり、薬剤・MRI検査・ME機器の安全管理に関して9月7日に講演を行った。同講演内容を収録し、以降の日程で、合計6回ビデオ上映した。また、部署毎にDVDを貸し出し視聴させた。	全職員	1,123名
22. 2. 1/ 2. 8/ 2. 9/ 2.10/ 2.17/ 2.18	【医療事故防止セミナーⅡ】「安全への取り組み一事例から学ぶこと」：院外講師により、安全への取り組み一事例から学ぶことと題した講演を2日に行った。同講演内容を収録し、以降の日程で合計8回ビデオ上映した。また、部署毎にDVDを貸し出し視聴させた。	全職員	1,249名
22. 3.15/ 3.18/ 3.19	【ベストプラクティス】金・銀・銅賞受賞チームによる成果発表を15日に行った。同発表内容を収録し、以降の日程で合計3回ビデオ上映した。	全職員	95名
21. 4.28/ 4.30/ 5. 1	【ICTセミナー】講演：「新型(豚)インフルエンザ講習会」感染症管理治療部教員及び看護部感染担当看護師による講演 (一部ビデオ視聴含む)を行った。以降の日程で、上映会を各日とも、①12:15~12:45、②12:45~13:15、③17:30~18:00、④18:00~18:30の4回ずつ計12回実施した。	全職員	1,196名
21.10.23	【ICTセミナー】講演：「新型インフルエンザ・ワクチンセミナー」感染症管理治療部教員が講師となり、講演した。	全職員	633名
21.11. 9/11.10	【ICTセミナー】講演：「第2回新型インフルエンザ・ワクチンセミナー」感染症管理治療部教員が講師となり、講演した。	全職員	458名
21. 4.13 (ほか内訳別紙のとおり)	【出張セミナー (部署別勉強会)】標準予防策、感染経路別予防策、新型インフルエンザ対策感染症管理治療部教員が各部署へ出向き、講師となり、講演した。	全職員	369名

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	○・無
・ 指針の主な内容：別添「資料4」のとおり	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
・ 活動の主な内容：別添「資料5」のとおり	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 4 回
・ 研修の主な内容：別添「資料6」のとおり	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 (○・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： インフルエンザ発生時の原因分析・対策立案・職員等への周知及びワクチン接種、 ICTによる院内巡視、サーベイランスの実施	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況

【指針の主な内容】

千葉大学医学部附属病院病院感染の防止に関する基本方針

この基本方針は、千葉大学医学部附属病院（以下「病院」という。）における病院感染防止対策及び病院感染発生時の対応等について必要な事項等を定め、もって適切かつ安全な医療の提供に資する事を目的とする。

第1 病院感染対策に関する基本的考え方

病院内における感染症の発生を予防するとともに、適切な対応・治療を行うことにより感染症の蔓延を防止する。このためには、病院内で働く全てのスタッフ（外部委託業者を含む。以下同じ。）が一致団結する必要があるが、場合によっては患者の協力をお願いするものとする。なお、病院は、種々の学生教育も担う場でもあることから、患者との接触を伴う学生（以下「学生等」という。）についても、スタッフと同様の対応を求めるものとする。

また、病院感染対策は、単に病院内での感染に拘らず、病院感染に影響を及ぼす可能性のあるすべてについても対象とする。

第2 病院感染対策のための委員会

病院感染対策は、病院長を委員長とし、職種横断的委員により構成される千葉大学医学部附属病院感染管理委員会（以下「感染管理委員会」という。）と感染症管理治療部を中心に行うものとする。病院感染対策を実施する実務組織として、千葉大学医学部附属病院インфекションコントロールチーム（以下「ICT」という。）、ICTの活動を円滑に行うため、ICT担当としてリンクドクター及びリンクナース（以下「リンクドクター等」という。）を置くものとする。ICTは、感染症管理治療部に属し、同部又は感染管理委員会の指示を受け、リンクドクター等と連携・協力し、病院感染対策の実施にあたるものとする。感染管理委員会及びICTは、病院感染対策の責務を担う。感染管理委員会・ICT全体会議は、原則として月1回を定例とし、緊急時は適宜開催するものとする。

第3 病院感染及び感染症に関する情報の共有

病院感染及び感染症に関する情報（以下「感染情報」という。）は、週1回程度ICT内で検討を行い、必要がある場合には、感染管理委員会委員長及びリンクドクター等に連絡を行うものとする。

なお、これらの感染情報については、ICT全体会議・感染管理委員会及び運営会議（月1回）を通して定期的に情報提供を行うものとする。

第4 病院感染発生時の対応

病院感染の発生又は発生が疑われる場合には、直ちにICTに連絡するとともに、主治医、感染管理委員会及びリンクドクター等が協力して対応・治療にあたるものとする。なお、必要により第三者機関の協力を求めるものとする。

第5 病院感染対策のための研修等

スタッフ及び学生等は、感染管理委員会又はICTが主催する研修等への参加義務を負うものとする。

第6 基本指針の公表

本基本方針は、病院のホームページ上に公開し、患者等が自由に閲覧可能とする。

第7 マニュアル等の整備

病院感染予防対策マニュアル及び感染症治療マニュアルを定め、定期的に見直しを行うものとする。

第8 その他の病院感染対策

国立大学病院感染症協議会及び千葉院内感染地域支援ネットワークと連携、協力体制を構築し、感染情報の収集・提供に努めるものとする。

附 則

この基本方針は、平成19年7月2日から施行する。

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

② 院内感染対策のための委員会の開催状況

【活動の主な内容】

- ・ 新生児室のMRSA感染（症）について
- ・ 職員のウイルス抗体・ワクチン接種について
- ・ 新型インフルエンザ対策について
- ・ 新型インフルエンザについて
- ・ 今年度の季節性インフルエンザワクチン接種方針について
- ・ 季節性インフルエンザワクチンについて
- ・ にし棟改修に伴う真菌対策について
- ・ 病院内での新型インフルエンザ集団発生について
- ・ 新型インフルエンザの病院感染対策について
- ・ 新型インフルエンザ対策について
- ・ 内視鏡洗浄とサーベイランスについて
- ・ 2009年MRSAの診療科別解析について
- ・ 実習生の感染管理教育について
- ・ 新規採用者のQFT検査について
- ・ 2009年度目標総括について
- ・ 内視鏡管理について
- ・ 眼への体液暴露対策について

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

③ 従事者に対する院内感染対策のための研修の実施状況

【研修の主な内容】

開催日	研修会の名称、内容	受講対象者、 受講者数	備考
21. 4. 28/ 4. 30/ 5. 1	【ICTセミナー】講演：「新型(豚)インフルエンザ講習会」感染症管理治療部教員及び看護部感染担当看護師による講演（一部ビデオ視聴含む）を行った。以降の日程で、上映会を各日とも、①12:15～12:45、②12:45～13:15、③17:30～18:00、④18:00～18:30の4回ずつ計12回実施した。	全職員	1,196名
21.10.23	【ICTセミナー】講演：「新型インフルエンザ・ワクチンセミナー」感染症管理治療部教員が講師となり、講演した。	全職員	633名
21.11. 9/11.10	【ICTセミナー】講演：「第2回新型インフルエンザ・ワクチンセミナー」感染症管理治療部教員が講師となり、講演した。	全職員	458名
21. 4. 13 (ほか内訳別紙のとおり)	【出張セミナー（部署別勉強会）】標準予防策、感染経路別予防策、新型インフルエンザ対策感染症管理治療部教職員が各部署へ出向き、講師となり、講演した。	全職員	369名

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： 注射剤の特徴と取扱い上の注意点 薬剤副作用情報の収集体制とその利用について 抗がん剤の取扱いについて	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">手順書の作成 (有・無)業務の主な内容： 医薬品の採用・購入手続きに基づいた薬事委員会の開催及び適正購入の実施 医薬品の購入及び麻薬、向精神薬、毒薬、劇薬特定生物由来製品等の適正管理の実施 患者に対する安全な医薬品供給のための調剤、交付、過誤防止、薬剤管理指導等の実施 等	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)その他の改善のための方策の主な内容： 医薬品安全管理に係る内容の見直し及び医薬品安全管理のための業務手順書の順次改訂と院内への周知徹底 医薬品の安全使用のための情報提供方法の工夫 (薬事委員宛のメールによる通知、ホームページへの掲載、使用患者・処方医を特定し個別に情報提供)	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 5 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：別添「資料 7」及び「資料 7-2」（放射線部関係）のとおり	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">計画の策定 (有・無)保守点検の主な内容：別添「資料 8」のとおり	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)その他の改善のための方策の主な内容：別添「資料 9」のとおり	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況

【研修の主な内容】

新しい医療機器導入時の安全使用のための研修の開催状況	① している	2 していない										
新しい医療機器導入時の研修記録	① している	2 していない										
特に安全使用に際して技術の習熟が必要と考えられる医療機器に関する定期研修	① している	(年 3 回)										
	2 していない											
定期研修の記録	① している	2 していない										
今年度の定期研修の内容 (H19.3.30医政局通知による研修が実施されているか)	<ul style="list-style-type: none"> ・有効性・安全性に関する事項 ・使用方法に関する事項 ・保守点検に関する事項 ・不具合が発生した場合の対応 ・使用に関して特に法令上遵守すべき事項 	<table border="0"> <tr> <td>① している</td> <td>2 していない</td> </tr> <tr> <td>① している</td> <td>2 していない</td> </tr> <tr> <td>① している</td> <td>2 していない</td> </tr> <tr> <td>① している</td> <td>2 していない</td> </tr> <tr> <td>① している</td> <td>2 していない</td> </tr> </table>	① している	2 していない	① している	2 していない	① している	2 していない	① している	2 していない	① している	2 していない
① している	2 していない											
① している	2 していない											
① している	2 していない											
① している	2 していない											
① している	2 していない											

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況（放射線部関係）

【研修の主な内容】

新しい医療機器導入時の安全使用のための研修の開催状況	① している	2 していない
新しい医療機器導入時の研修記録	① している	2 していない
特に安全使用に際して技術の習熟が必要と考えられる医療機器に関する定期研修	① している	(年 2 回)
	2 していない	
定期研修の記録	① している	2 していない
今年度の定期研修の内容 (H19.3.30医政局通知による研修が実施されているか)	<ul style="list-style-type: none"> ・有効性・安全性に関する事項 ・使用方法に関する事項 ・保守点検に関する事項 ・不具合が発生した場合の対応 ・使用に関して特に法令上遵守すべき事項 	<ul style="list-style-type: none"> ① している 2 していない ① している 2 していない ① している 2 していない ① している 2 していない ① している 2 していない

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況

【保守点検の主な内容】

	① している	2 していない
保守点検計画の策定	【機器名】人工呼吸器、人工心肺、人工透析、除細動器（一部）、補助循環装置（一部）、閉鎖式保育器 （放射線部）MR、リニアック、ラルストロン、RI、CT、PET等	
保守点検計画の実施方法	日常点検及び定期点検を行い、スクリーニング施行。院内修理が不可能と思われる場合は、業者へ委託。	
保守点検の記録	① している	2 していない

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

- ④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

【その他の改善のための方策の主な内容】

添付文書の管理	① している 2 していない
安全性情報の収集	① している 2 していない
機器に携わる者への提供	① している 2 していない 【提供・周知方法を具体的に記入】 院内ホームページを使用して周知を行う。 グループミーティング、部会等での周知（放射線部）
不具合・健康被害等に関する情報について管理者への報告	① している 2 していない